

小樽市の環境に関する 事業所アンケート調査のお願い

小樽市内の事業者の皆様には、日頃より市政運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

市では、平成27年に策定した「小樽市環境基本計画」の計画期間（平成27年度～令和6年度）満了を来年度末に控え、新たな計画の策定を進めているところです。

計画の見直しに当たりまして、事業者の皆様が小樽市の環境について日頃お感じになっていることや事業活動を進めていく上での環境に対する取り組み、ご意見などをお聞きし、計画策定の参考にしたいと考え、市内で活動されています幅広い事業者の皆様から500社を無作為に抽出してアンケート調査を行うことといたしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。所要時間は15分程度となります。

なお、調査票に記入された内容についてはすべて無記名データとして統計処理いたしますので、貴社の情報が漏えいすることはございません。集計結果につきましては市のホームページ等でお知らせいたします。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年9月

小樽市長 迫 俊哉

アンケート用紙記入上のお願い

1. 質問に対する回答は、なるべく事業者の視点や立場からご記入ください。また、できましたら貴事業所における環境担当部署（組織）の方がお答えいただきますようお願いいたします。環境担当部署がない場合は、貴事業所の代表者か総務の方がお答えいただきますようお願いいたします。
2. 調査票の最後のページに自由通信欄を設けてありますので、環境を良くしていくためのアイデア、ご意見などございましたら、自由にご記入ください。
3. ご記入には鉛筆、ボールペン、万年筆など、いずれを使用されても結構です。
4. ご記入が終わりましたら、もう一度、回答漏れがないかお確かめの上、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**10月30日（月）**までにご投函ください。
5. 内容などについて、ご不明な点がございましたら下記担当までお問合せください。

《お問合せ先》 小樽市役所 生活環境部環境課 環境グループ（担当）澤田

電話 0134-32-4111（内線327）

Q1 貴事業所のことについて

① はじめに貴事業所のことについておたずねします。各項目から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

業種	1	農業、林業	2	漁業	3	鉱業、採石業、砂利採取業	4	建設業
	5	製造業	6	電気・ガス・熱供給・水道業	7	情報通信業	8	運輸業、郵便業
	9	卸売業、小売業	10	金融業、保険業	11	不動産業、物品賃貸業	12	学術研究、専門・技術サービス業
	13	宿泊業、飲食サービス業	14	生活関連サービス業、娯楽業	15	教育、学習支援業	16	医療、福祉
	17	複合サービス事業	18	サービス業（他に分類されないもの）	19	分類不能の産業		
	20	分類が判らない場合はこちらに直接ご記入ください（ ）						
従業員数 (R5.10.1時点)	会社全体	1	10人未満	2	10人～19人	3	20人～49人	
		4	50人～99人	5	100人～199人	6	200人以上	
常勤・パート・アルバイト含む	事業所	※ 上記（会社全体）と同じであれば（※）に○をつけてください						
		1	10人未満	2	10人～19人	3	20人～49人	
		4	50人～99人	5	100人～199人	6	200人以上	
事業所がある地区	1	塩谷地区（蘭島、忍路、桃内、塩谷）						
	2	長橋・オタモイ地区（長橋、オタモイ、幸、旭町）						
	3	高島地区（祝津、赤岩、高島）						
	4	手宮地区（手宮、末広町、梅ヶ枝町、錦町、清水町、豊川町、石山町、色内3丁目）						
	5	中央地区（稲穂、花園、色内1・2丁目、港町、東雲町、山田町、相生町、堺町、入船1・2丁目）						
	6	山手地区（富岡、緑、最上、松ヶ枝、入船3～5丁目、天狗山）						
	7	南小樽地区（住ノ江、住吉町、有幌町、信香町、若松、奥沢、天神、真栄、潮見台、新富町、勝納町、若竹町、築港）						
	8	朝里地区（桜、船浜町、朝里、新光、望洋台、新光町、朝里川温泉）						
	9	銭函地区（張碓町、春香町、桂岡町、銭函、見晴町、星野町）						
事業所の所有形態	1	自社保有	2	賃貸（建物全体）	3	賃貸（一部）	4	その他（ ）

② 貴事業所の環境保全に関する認証取得や登録状況をおたずねします。各設問の3つの中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1) ISO14001 認証取得	1	取得済	2	予定している	3	なし
2) エコアクション21 認証登録	1	取得済	2	予定している	3	なし
3) HES（北海道環境マネジメントシステムスタンダード）認証取得	1	実施済	2	予定している	3	なし
4) 環境報告書の作成・公表	1	実施済	2	予定している	3	なし
5) その他の認証取得や登録内容	何かありましたらご記入ください					

③ 以下の環境に関することの中で、貴事業所として関心を持っているものは何ですか。次の中から当てはまるもの全てを選び、○をつけてください。

1	空気をきれいに保つこと	2	水をきれいに保つこと
3	適切な生活環境（騒音・振動・悪臭等）	4	山や山林を回復させ、保つこと
5	廃棄物処理問題等に関すること	6	再生可能エネルギーを作る・使うこと
7	地球温暖化・気候変動に関すること	8	海・陸の豊かさ（生物多様性）を保つこと
9	ごみを減らす・資源を大切に使う（リサイクル）こと		
10	その他（ ）		

Q2 環境に関する取組の実施状況

① 貴事業所における環境に関する取組の実施状況について、各設問の5つの中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。なお、「4 実施していない」とお答えいただいた方は、その主な理由を下欄の番号から1つ選び、ご記入ください。

項目	実施状況				理由	関連しない
	積極的に実施している	部分的に実施している	実施していないが今後検討したい	実施していない		
【例】〇〇〇〇	1	2	3	④	1	5
(1) ごみの減量化	1	2	3	4		
(2) ペーパーレス化の推進	1	2	3	4		5
(3) 食品ロスの削減	1	2	3	4		5
(4) フードドライブ・フードバンクの参加	1	2	3	4		5
(5) ごみの分別やリサイクル	1	2	3	4		
(6) 事業所の排水や騒音、廃棄物などに対する法的規制以上の配慮	1	2	3	4		5
(7) 事業所内の省エネルギーの推進（節電・節水など）	1	2	3	4		5
(8) クールビズ・ウォームビズの推進	1	2	3	4		5
(9) 在宅勤務やリモート会議	1	2	3	4		5
(10) エコドライブの推進	1	2	3	4		5
(11) エコマーク製品等の購入	1	2	3	4		5
(12) 事業所・工場内の緑化	1	2	3	4		5
(13) 従業員に対する環境教育	1	2	3	4		5
(14) 事業活動に関わる環境目標や環境保全ガイドラインなどの設定	1	2	3	4		5
(15) 地域の環境保全活動（美化活動・植樹への募金等）などへの参加	1	2	3	4		5



【「4 実施していない」と回答した理由】

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 費用負担が大きいから | 2. 環境問題の現状や対策に関する情報がないから |
| 3. 時間や手間がかかるから | 4. 取引先や消費者の協力が得られないから |
| 5. ノウハウが不足しているから | 6. 事業活動に関係しないから |
| 7. 社員の協力を得られないから | 8. その他の理由 |

- ※1 太陽熱利用システム:太陽熱を利用して温水や温風をつくり、給湯や冷暖房に利用するシステムのこと。
- ※2 コージェネレーションシステム:1 つのエネルギー源から電気と熱などを同時に供給する、エネルギーの利用効率が高いシステムのこと。
- ※3 次世代自動車:ガソリンや軽油などを燃料とした従来型の内燃機関自動車とは動力部や燃料などが異なる自動車のこと。地球温暖化やエネルギー制約への対応から開発・普及が進んでいる。
- ※4 省エネナビ:現在のエネルギーの使用状況を量や金額でリアルタイムに表示し、利用者自身が決めた目標値と比較しながら見せる機器のこと。
- ※5 デマンド監視システム:電力会社の基本料金の決定根拠となるデマンド値を確認するために設置する装置。24 時間連続して最大需要電力(デマンド値)を予測し、設定した目標値を超過しそうになると警報を発信する。
- ※6 BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム):IT の活用により、エネルギーの使用状況をリアルタイムに表示し、また、室内状況に対応して照明・空調などの最適な運転を行うエネルギー需要の管理システムのこと。
- ※7 ZEB:Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略。室内環境を維持しつつ大幅な省エネルギーの実現や再生可能エネルギーの導入により、年間のエネルギー収支をゼロとすることを目指した建築物のこと。

③ Q2② (7) LED照明の質問について、事業所内ですでにLED照明を導入している場合、その導入率は概ねどのくらいですか。次の中から当てはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。

1	2	3	4	5
20%未満	20%以上～ 50%未満	50%以上～ 80%未満	80%以上～ 100%未満	100%

④ 貴事業所の温室効果ガス排出量について把握していますか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	2	3	4
十分に把握している	ある程度把握している	把握していないが、 今後把握したい	把握していない・今後もしない (理由)

⑤ 貴事業所では温室効果ガス排出量の削減目標を設定していますか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	2	3
設定している	設定していないが 今後する予定である	設定もしていないし、今後もしない (理由)

⑥ 貴事業所で環境に関する取組を行う理由を教えてください。(複数回答可)

1	周辺市民と良好な関係を維持するため	2	事業者の責任として
3	事業所のイメージアップのため	4	省エネルギーやリサイクルはコスト削減につながるため
5	法的規制を守るため	6	今のところ環境問題には取り組んでいない
7	その他 ()		

Q3 環境に対する充実希望度・重要度について

小樽市の環境に関する各分野の各設問について、どのように評価していますか。各設問の「充実希望度」、「重要度」それぞれ5つの中から番号を1つずつ選び、○をつけてください。

(1/2)

質問項目		回答区分	充実希望度					重要度				
			充実させて欲しい	やや充実させて欲しい	どちらともいえない	あまり希望しない	希望しない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	やや重要でない	重要でない
【記入例】	〇〇〇〇		①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
自然環境	1	豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2	水と緑が調和した自然空間があり、四季折々の自然環境が形成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3	多様な生物の生息・生育環境の保全のため、今ある自然環境への配慮が十分なされ、都市環境・居住環境と豊かな自然とが調和している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生活環境	4	大気汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな空気が確保されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5	土壌汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな土や地下水が確保されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6	水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7	騒音・振動・悪臭の防止に向けた取組が推進され、快適な生活環境が確保されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
社会環境	8	公園や緑地など新たに緑が創出され、潤いのある生活環境が確保されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9	小樽ならではの景観を保全するとともに、良好な景観が形成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10	安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11	文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
廃棄物・資源循環	12	廃棄物の発生抑制及び減量・資源化が推進され、循環型社会が形成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13	家庭における食品ロスや、事業者における食品廃棄物の削減が推進されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14	エコバッグの活用や過剰梱包の防止など、プラスチックごみの削減に向けた取組が定着している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

質問項目		回答区分	充実希望度					重要度				
			充実させて欲しい	やや充実させて欲しい	どちらともいえない	あまり希望しない	希望しない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	やや重要でない	重要でない
地球環境	15	地球温暖化対策について、市民・事業者・行政の力を活かした地域からの行動が進められている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16	環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17	エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの活用とマネジメントが行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18	環境への負荷を低減し、未来へつなげる循環型社会が実現されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19	地球温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境学習・環境活動	20	学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・環境学習が推進され、環境を意識した行動が広がっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21	より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持つことで、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22	市民や事業者を牽引する行政の率先的取組が推進されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

Q4 市や地域などで進める環境保全に関する活動への参加・協力について

- ① 貴事業所としての環境保全活動への参加・協力について、次の中から当てはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。

1	2	3	4	5
積極的に参加・協力したい	機会やきっかけがあれば参加・協力したい	行政や市民等から協力要請などがあれば、参加・協力したい	参加・協力できない又はしたくない	わからない

- ② 上記質問で、「4 参加・協力できない又はしたくない」を選ばれた場合、その理由等があれば下記枠内にご記入ください。

(理由等)

Q5 取り組むべき環境施策について

事業者の視点から、小樽市全体（市民・事業者・市）で、特に焦点を当てて取り組んでいくべきと考える環境の課題を、次の中から当てはまる番号を5つまで選び、○をつけてください。

1	大気汚染の防止	2	土壌汚染の防止
3	地下水の汚染防止	4	河川・海等の水質汚濁の防止
5	騒音・振動・悪臭の防止	6	自然の緑地や水辺の保護・保全
7	有害鳥獣対策	8	生物多様性の保全
9	ごみの減量化と資源化	10	農林水産物の地産地消の推進
11	公園などのまちなみの緑化	12	環境保全活動・美化活動の推進
13	再生可能エネルギー設備の導入促進	14	省エネルギー設備の導入促進
15	エネルギーの地産地消	16	地球温暖化への適応
17	道路環境の整備	18	下水道整備などの生活排水対策
19	良好な都市景観の創出	20	環境教育の推進
21	歴史的建造物・文化財の保存や芸術・文化の振興	22	環境施策の情報提供・PRの充実
23	公共交通の維持・充実、環境にやさしい都市づくり		
24	その他 ()		

Q6 行政に期待する施策について

貴事業所が環境保全対策を進めて行くために、貴事業所が行政に特に期待している施策は何ですか。次の中から当てはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

1	市民に対して環境保全意識の啓発活動を行う
2	環境講座などを開講し、事業所向けの学習の場を設ける
3	事業所のごみの減量化・リサイクルについて支援する
4	事業所の緑化について支援する
5	事業者による環境自主行動計画などの計画策定について支援を行う
6	事業者によるISO14001、エコアクション21などの認証取得について支援を行う
7	環境に配慮した行動をとっている事業者に対し、独自の認証制度・表彰制度を設ける
8	地球環境保全に関する調査・研究を進め、広く情報提供を行う
9	太陽光発電など再生可能エネルギーを利用した設備の導入に関する支援制度を充実する
10	省エネルギー設備の導入に関する支援制度を充実する。
11	行政と事業者の協働で新しい環境技術の研究や実用化の促進を行う
12	グリーン購入（環境物品等の調達）の促進を行う
13	その他 ()

Q7 事業所の利用エネルギーについて

① 平成28年（2016年）4月から電力の小売全面自由化となり、電気の契約先を選ぶことができるようになりました。貴事業所は電力の契約会社を変更しましたか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	変更した	2	変更していない
---	------	---	---------

② Q7の①で「1 変更した」を選んだ方におたずねします。電力会社を選ぶときに重視した点として、次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	電気代を少しでも安くしたかった
2	各種の割引サービス、ポイント付加
3	再生可能エネルギーで発電を行うなど環境へ配慮している企業だから
4	道内企業だから
5	特にない
6	その他（ ）

③ Q7の①で「2 変更していない」を選んだ方におたずねします。変更しなかった理由として、次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	価格面のメリットを感じなかった	2	魅力的なサービスが無かった
3	契約面の煩わしさ	4	信用できる業者がいなかった
5	小売電気事業者倒産の不安	6	特に理由はない
7	その他（ ）		

Q8 省エネ最適化診断について

① 貴事業所では、省エネ最適化診断*を実施していますか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	2	3	4
実施済	実施したい（又は実施する予定がある）	今後も実施するつもりはない	初めて聞いた

* 「省エネ最適化診断」とは、一般財団法人省エネルギーセンターが提供している「省エネ最適化診断」と「再エネ提案」で、使用エネルギー削減に加え、「再エネ提案」を組み合わせることで、脱炭素化を加速する新しいサービス（有料）です。なお、令和5年度分の申し込み受け付けは終了しています。

② Q8の①で「4 初めて聞いた」を選んだ方におたずねします。今後、省エネ最適化診断を実施したいと思いませんか。当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	2
実施したい	実施したいとは思わない (理由：)

Q9 気候変動の影響への「適応」について

① あなたは気候変動の影響への「適応^{*1}」という言葉をご存じですか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	2	3
意味を含めて知っている	言葉は知っていたが意味は知らない	言葉自体知らない

② 小樽市で温暖化の影響をすでに受けていると感じるものについておたずねします。次の中から当てはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

1	農作物の品質低下や収穫量	2	海産物の漁獲量や漁期の変化
3	河川の水量減少や水質悪化	4	市内に生息する生き物の種類の変化
5	市内に生息する生き物の生息域の変化	6	外来種の増加・在来種の減少
7	桜などの開花時期の変化	8	洪水や内水氾濫リスクの増加
9	強風被害の増加	10	持病の悪化や様々な健康リスクの増大
11	熱中症患者の増加	12	ヒートアイランド現象の進行
13	北海道未上陸の感染症（デング熱など）伝搬リスクの増大	14	降雪量、降雪回数の減少
15	スキー場の営業期間	16	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響
17	温暖化の影響を感じていない		

③ 小樽市で優先して対策する必要があると思う取組についておたずねします。次の中から当てはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

1	自然災害に強いインフラ（道路・鉄道・港湾・ダム・橋梁・学校・病院等）構築	2	自然災害に強いライフライン（電気・ガス・水道・電話・インターネット等）構築
3	土砂災害危険箇所の防災対策	4	洪水や内水氾濫リスクの対策
5	強風被害対策	6	避難所の追加・見直し
7	小集落の非常用電源確保	8	生物多様性の保全
9	外来種侵入対策	10	デング熱などの感染症リスクの増大
11	農作物の品質低下対策	12	高温耐性の農作物品種の開発・普及
13	熱中症予防対策の推進	14	魚類の分布域の変化に対応した漁場整備
15	観光客向けの災害時対策	16	ハザードマップ更新

※1:「適応」とは

温室効果ガスの増加によって、気候変動（地球温暖化や降雨パターンの変化など）が進んでおり、その結果として、猛暑による熱中症や集中豪雨による浸水被害の増加など、様々な影響が出てきています。

このようなすでに起こりつつある気候変動による影響に備えること（たとえば、「浸水に備えてハザードマップなどで避難経路、避難先を確認しておく」など）を「適応」と言います。

これに対して、省エネの取組みや、再生可能エネルギーなどの低炭素エネルギーの普及、植物によるCO₂の吸収源対策などによって、温室効果ガスの排出削減と吸収の対策を行うことを「緩和」と言います。



Q10 持続可能な開発目標（SDGs）について

- ① 平成27年（2015年）の国連サミットで採択された、「持続可能な開発目標（SDGs）※2」をご存じですか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	2	3
内容を把握している	名称だけ聞いたことがある・マークを見たことがある	全く聞いたこと、見たことがない

- ② 貴事業所はSDGsの目標を自社の事業に取り組む活動を行っていますか。次の中から当てはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1	2	3	4
取り組んでいる	取り組む予定である	取り組む予定はない	未定である



- ③ 「1 取り組んでいる」を選択された場合、どんな目標に取り組んでいるのか、次の中から当てはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

1	貧困をなくそう	2	飢餓をゼロに
3	すべての人に健康と福祉を	4	質の高い教育をみんなに
5	ジェンダー平等を実現しよう	6	安全な水とトイレを世界中に
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8	働きがいも経済成長も
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	10	人や国の不平等をなくそう
11	住み続けられるまちづくりを	12	つくる責任、つかう責任
13	気候変動に具体的な対策を	14	海の豊かさを守ろう
15	陸の豊かさも守ろう	16	平和と公正をすべての人に
17	パートナーシップで目標を達成しよう		

※2:「持続可能な開発目標(SDGs)」とは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された平成28年から令和12年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴールが設定され、それらは互いに関係しているため、1つの行動によって複数の課題の解決を目指すという特徴を持っています。



Q11 環境に関する情報提供について

環境に関する情報を入手したい場合、どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。次の中から最も当てはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

1	講習会や研修会	2	地域活動を通じて
3	仕事関係者との会話	4	国・道・市などの広報誌
5	新聞・雑誌・書籍	6	家族との会話
7	テレビ・ラジオ	8	インターネット・メール配信
9	SNS（フェイスブック等）	10	その他 ()

Q12 環境に関するご意見について

最後に、小樽市の環境行政へのご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

皆様のご意見を参考にしながら、より良い街づくりを進めていきたいと考えていますので、今後とも市政にご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

※ 記入漏れがないかももう一度お確かめの上、回答用紙を返信用封筒に入れて、10月30日（月）までにご投函くださいますようお願いいたします。